

茎数「過剰」！

中干し、溝切りをすみやかに実施しましょう！

- ・ コシヒカリの生育は、茎数が過剰となっています。
- ・ 中干しの適期を過ぎているほ場が目立ちます。
- ・ 斑点米の原因となる「アカスジカスミカメ」の発生が多くなっています。

1 6月19日現在の生育状況（品種：コシヒカリ 拠点ほ場9か所の平均）

● 茎数のみが目標値を上回っており、中には40本/株を超えるほ場もあります。

	本年値	前年値 (前年比・差)	目標値 (カレンダ-生育目標値比・差)
草丈(cm)	38	33 (115%)	37 (103%)
茎数(本/m ²)	524	391 (134%)	410 (128%)
葉数(葉)	8.8	7.9 (+0.9)	8.7 (+0.1)
葉色(SPAD値)	40.0	37.5 (+2.5)	39.0 (+1.0)

2 今後の管理ポイント（コシヒカリ）

- (1) 中干しは、田面に小ヒビが入る程度とし、かん水や排水を容易にするための溝切りを確実に実施しましょう。
- (2) 出穂の1か月前までには中干しを終え、間断かん水としましょう。
- (3) 斑点米カメムシ類の密度を下げるため、農道・畦畔の草刈りを実施しましょう。

3 その他

- (1) いもち病が発生しやすい品種では、遅れずに防除をしましょう。また、ほ場内に補植苗が散見されますので、すみやかに取り除いてください。
- (2) 極早生・早生品種は幼穂形成期が近いので、間断かん水とし、分施肥系の場合は穂肥施用の準備をしましょう。
- (3) 水分をこまめに補給し「熱中症」を予防しましょう。